

福岡県立筑紫高等学校 CAN-DOリスト(令和4年度改訂版)

		聞くこと	できる	ほぼできる	あまりできない	全くできない	読むこと	できる	ほぼできる	あまりできない	全くできない	話すこと (やり取り)	できる	ほぼできる	あまりできない	全くできない	話すこと (発表)	できる	ほぼできる	あまりできない	全くできない	書くこと	できる	ほぼできる	あまりできない	全くできない
1年	1学期	ゆっくり、繰り返し話されれば、授業中の簡単な指示を理解することができる。					辞書を活用すれば、簡単な英語で書かれた身近な話題の文章の概要を理解することができる。					相手の言っていることに対して、適切な相槌を打ちながらコミュニケーションをとることができる。					1分間程度の自己紹介を発表することができる。					辞書を活用すれば、教科書等で扱った話題について、自分の意見を3文程度の文章で書くことができる。				
	2学期	ゆっくり、繰り返し話されれば、授業中の指示や日常生活での会話を理解することができる。					辞書を活用すれば、簡単な英語で書かれた身近な話題の文章を、各段落の要点を整理しながら理解することができる。					相手の言っていることに対して、簡単な表現を用いて自分の気持ちを表現することができる。					自分が興味・関心がある事柄について1分間程度のスピーチをすることができる。					辞書を活用すれば、教科書等で扱った話題について、自分の意見を5文程度の文章で書くことができる。				
	3学期	ゆっくり、繰り返し話されれば、社会問題等の馴染みのない話題でも理解することができる。					知らない語句を推測しながら、簡単な英語で書かれた身近な話題の文章の概要を理解することができる。					相手の言っていることに対して、簡単な表現を用いて自分の考え・意見を表現することができる。					ジェスチャーや非言語表現を効果的に用いて、自分が興味・関心がある事柄について1分間程度のスピーチをすることができる。					辞書を活用すれば、教科書等で扱った話題について、理由や例を挙げて自分の意見を5文程度の文章で書くことができる。				
2年	1学期	自然なスピードでも繰り返し話されれば、授業中の指示や日常生活での会話を理解することができる。					辞書を活用すれば、一般的な評論や具体的な物語などの概要を理解することができる。					事前に準備すれば、教科書等で学習した内容について、相手と意見交換をすることができる。					日常生活や、聞き手にも馴染みのある話題について1分間程度のスピーチをすることができる。					教科書等で扱った話題について、理由や例を挙げて自分の意見を5文程度の文章で書くことができる。				
	2学期	自然なスピードで話されても、身近な話題なら日常生活での会話を理解することができる。					辞書を活用すれば、一般的な評論や具体的な物語などを、各段落の要点を整理しながら理解することができる。					事前に準備すれば、教科書等で学習した内容について、同意や反論を含めた意見交換をすることができる。					ジェスチャーや非言語表現を効果的に用いて、日常生活や、聞き手にも馴染みのある話題について、1分間程度のスピーチをすることができる。					教科書等で扱った話題について、自分の意見を序論・本論・結論というパラグラフの型で書くことができる。				
	3学期	自然なスピードで話されても、様々な日常生活での会話を理解することができる。					知らない語句を推測しながら、一般的な評論や具体的な物語などの概要を理解することができる。					事前の準備なしでも、教科書等で学習した内容について、同意や反論を含めた意見交換をすることができる。					日常生活や、聞き手にも馴染みのある話題について、適切な発音やイントネーションで1分間程度の流暢なスピーチをすることができる。					教科書等で扱った話題について、序論・本論・結論というパラグラフの型を用いて50語程度の文章を書くことができる。				
3年	1学期	自然なスピードで話されても、身近な社会問題であれば理解することができる。					知らない語句を推測しながら、チラシ・パンフレットや統計的な表・グラフから必要な情報を読み取ることができる。					様々な話題に対する自分の感情や意見を理由とともに明確に相手に伝えることができる。					身近な社会問題について1分間程度のスピーチやプレゼンテーションをすることができる。					社会問題について、自分の意見を序論・本論・結論というパラグラフの型で書くことができる。				
	2学期	自然なスピードで話されても、馴染みのない社会問題の概要を理解することができる。					知らない語句を推測しながら、社会問題等を扱った評論や抽象度の高い物語の概要を理解することができる。					事前に準備すれば、身近な社会問題について、簡単な議論をすることができる。					身近な社会問題について表現方法を工夫した2分間程度の論理的なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。					社会問題について、序論・本論・結論というパラグラフの型を用いて100語程度の文章を書くことができる。				
	3学期	自然なスピードで話されても、馴染みのない社会問題の細部まで理解することができる。					知らない語句を推測しながら、社会問題等を扱った評論や抽象度の高い物語の細部まで理解することができる。					事前の準備なしでも、身近な社会問題について、簡単な議論をすることができる。					身近な社会問題について適切な発音やイントネーションで、2分間程度の論理的で流暢なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。					社会問題について、序論・本論・結論というパラグラフの型を用いて100語程度の説得力のある文章を書くことができる。				